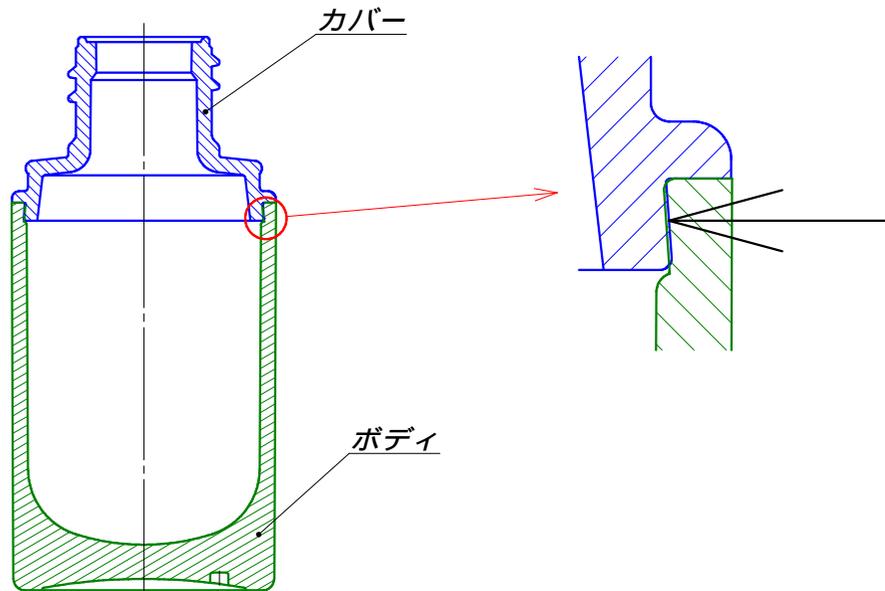


レーザー溶着を用いた容器の説明



矢印部の図面寸法上重なり合うカバーとボディを組み立てることにより、この部分にカバーとボディの密着面が生成されます。

この部分に、矢印方向にレーザー光を当ててカバー側の樹脂を溶かし、ボディと溶着させます。これを1周に施すことにより、カバー開口部を塞ぐと内部を密封できる容器を製作することができます。

上記要諦を満たすために、カバー側には光を吸収、発熱する要素が必要になり、ボディ側は光を透過することが必要条件となります。

弊社では、カバーの樹脂に黒い着色材（カーボン）を練りこみ、ボディを着色する場合はレーザー光が十分透過する濃さまでの着色に留めるよう推奨しております。

また、白色の着色剤に含まれるよな、酸化アルミナなどの光を反射、拡散させてしまう材質を着色や意匠（ラメなど）などに使用すると、溶着できなくなりますので注意が必要になります。

白色をご要望される場合は、容器完成後の塗装により対応させていただいております。